

南海トラフ地震に備えましょう



令和6年8月8日に日向灘を震源とする最大震度6弱の地震が発生し、[南海トラフ地震防災対策推進地域]に、「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」が発表され、8月15日に「特別な注意の呼びかけ」が終了となりました。これにより、大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないため、町民の皆さまにおかれましても、日頃から災害に備えておきましょう。

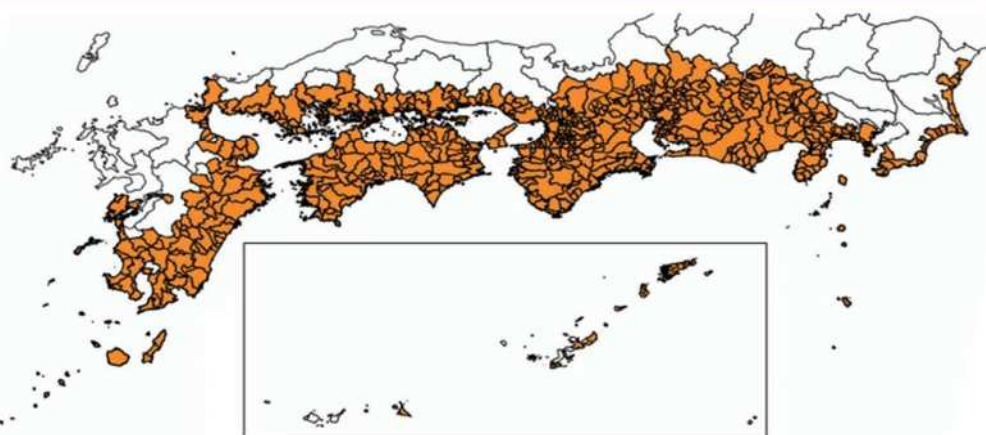
南海トラフ地震の発生に伴い、関東から四国・九州にかけて極めて広い範囲で著しい災害が生じるおそれがあります。特に沿岸部では津波による甚大な被害が生じる可能性があります。大きな被害が見込まれる地域では、南海トラフ地震に備える必要があります。

南海トラフ地震で大きな被害が見込まれる地域

南海トラフ地震
防災対策推進地域

指定基準の概要

- 震度6弱以上の地域
- 津波高3m以上で海岸堤防が低い地域
- 防災体制の確保、過去の被災履歴への配慮



南海トラフ地震が発生したら・・・



地震発生 揺れを感じたらまず身を守る行動を

突然の揺れ

家庭で

頭を保護して机の下など頑丈な場所に隠れる



屋外で

ブロック塀や電柱、自動販売機など、倒れる危険のある場所から離れる



沿岸部で

津波の発生・襲来に備えて、安全な場所に避難する



【出典：内閣府ホームページ】



地震の発生に備えよう

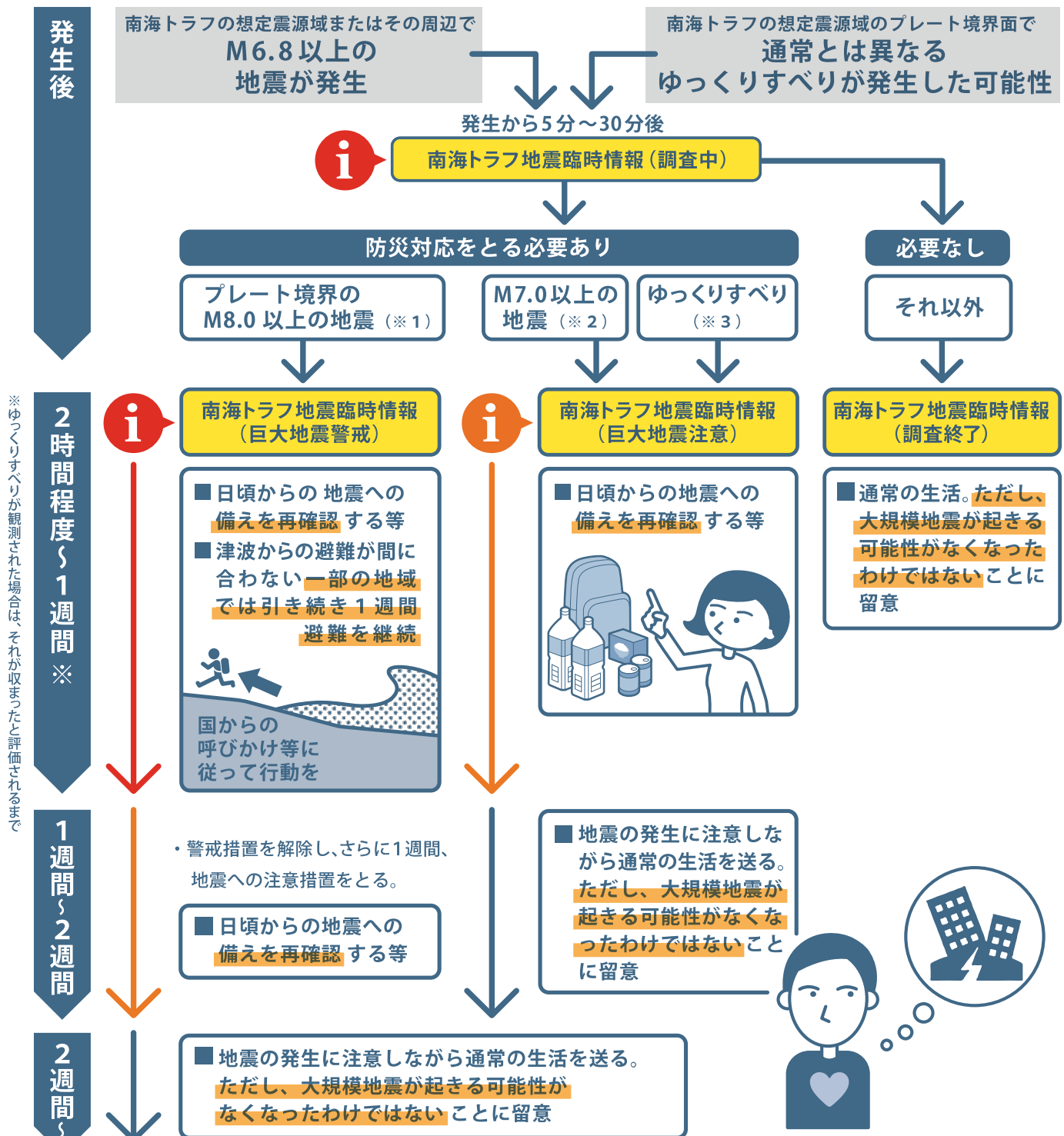
- | | |
|---------------------------------------|--|
| ☐ 家具の固定 | ☐ 建物の耐震化 |
| ☐ 非常用持ち出し袋の準備 | ☐ 水や食料、簡易トイレの備蓄 |
| ☐ 避難場所や避難経路の確認 | ☐ 家族との安否確認手段の確認 |



時間差で発生する巨大地震に備えましょう ～南海トラフ地震臨時情報～

- ・南海トラフ地震の発生可能性が通常と比べて相対的に高まったと評価された場合に気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されます。
- ・政府や地方公共団体などからの呼びかけ等に応じた防災対応をとりましょう。

地震発生後の防災対応の流れ



※1 想定震源域のプレート境界で M8.0 以上の地震が発生

※2 想定震源域、またはその周辺で M7.0 以上の地震が発生（ただし、プレート境界の M8.0 以上の地震を除く）

※3 住民が揺れを感じることがない、プレート境界面のゆっくりとしたずれによる地殻変動を観測した場合など